

知る人ぞ知る、上質なものが溢れる  
リッチな加賀の國の魅力を伝える

## 加賀RICH NEWS 2019.9

石川県は一般的に加賀と能登の二手に分かれており、その加賀エリアの中でも金沢より南のエリア、加賀市、小松市、能美市、川北町、白山市、野々市市、の6市町村を『加賀の國』と呼んでおります。『加賀の國』にはリッチな素材がたくさんあります。そんな『加賀の國』の自然、食、文化といった旬の魅力を毎月お届けします。

### 9月の食 RICH/加賀の國のグルメがRICH!



秋に食べたくなるイチオシの食べ物!!

### 加賀の國の知られざるグルメ大特集 part.1

#### ①柿の葉寿司



奈良県発祥の柿の葉寿司ですが、その昔、前田利家が加賀に入城した際に地元の方から献上されたという説もあり、石川県では古くから郷土料理として愛されてきました。広げた柿の葉の上に、魚の切身、酢飯を置き、そして生姜、胡麻、青藻、桜エビなどを散らす食べ方が主流です。

#### ②笹寿司



石川県では、昔から祭りの日に「押し寿司」を作る習慣があり、四季折々に地元で獲れる魚を使い、紺ノリと桜エビをのせ、押し寿司用の木板上に敷き詰めて作られます。この時に笹を使ったものを笹寿司と呼びます。地域ごとに異なる香使いを見て楽しむこともできます。

#### ③川北いちじく



川北町の特産物といえいちじくが有名です。いちじくから作った特製イチジク味噌を使った「かわきた味噌豚どん」や、どら焼き「いちじく太鼓」がご当地グルメとして知られています。イチジクは肉料理と相性が良く風味も豊かで、おいしくてヘルシーなどんぶりとなっています。また、イチジクのジャムを混ぜ合わせた粒あんのどら焼きもオススメです。

#### ④湯谷の焼饅頭

「てんぽにうまい!」がキャッチフレーズで知られる湯谷の焼万頭は能美市のソウルフードとして有名です。「てんぽに」は南加賀の方言で「とても」「大変」という意味があります。一般的な大判焼のようにしっかりとした円柱形ではなく、少し崩れたような形で、食べやすい小ぶりなサイズとなっています。上品な甘さのこしあんで冷めてもおいしく食べることができます。



とろけるような甘み、つるっとした食感は別格!

### 甘エビ底引き網漁 9月1日から解禁!!

石川県を代表する水産物の「甘エビ」の底引き網漁が9月1日から解禁されます。海のスイーツともいわれる甘エビは、甘み成分であるアミノ酸系が多く含まれており、その名の通りとろけるような甘みが楽しめます。甘み成分のアミノ酸系には、血中コレステロールの上昇を抑え、血圧の上昇を抑えます。

また、心臓や肝臓機能の強化、疲労回復にもつながるタウリンも豊富に含まれており、健康に良い食材です。9月～2月頃の旬の時期には、メスが灰緑色の卵を溢れるほど抱えるため、一層美味しくなると人気があります。



## 9月の自然 RICH/加賀の國の紅葉がRICH!



北陸の壮大な自然と調和した見事な名所を堪能

## 加賀の國の美しい紅葉 6選



## ◀ 鶴仙溪 (加賀)

鶴仙溪は大聖寺川が造る溪谷で、上流の「こおろぎ橋」から下流の「黒谷橋」まで約1.3kmあります。水面に映える紅葉のほか、国の名勝指定「道明が淵」やS字に曲がりくねった「あやとりはし」など見どころが満載です。近くの山中温泉に宿泊し、翌朝温泉街を歩きながら鶴仙溪に出向き、11月まで営業している川床でお茶やスイーツを味わうのも、楽しみ方の一つです。

【住所】石川県加賀市山中温泉河鹿町 鶴仙溪川床  
【TEL】0761-78-0330 (山中温泉観光協会)



## ◀ 布市神社 (野々市)

布市神社は中世の時代に加賀国の守護大名を務めていた富樫氏が造営したとされる神社です。境内には弁慶が投げ飛ばしたとの伝説が残る大きな石「弁慶の力石」が置かれています。野々市市指定文化財でもある樹齢500年の大イチョウがあり見ごたえ十分です。

【住所】石川県野々市市本町二丁目地内  
【TEL】076-248-1610



## ▲ 白山白川郷ホワイトロード (白山)

石川県白山市と世界遺産白川郷を結ぶ全長33.3kmの山岳観光道路です。ブナ原生林の紅葉がひととき美しく、日本紅葉の名所100選にも選ばれています。紅葉は10月上旬に標高1450mの三方岩駐車場付近から見頃となり、標高500m付近まで約1か月にわたり楽しむことができます。

【住所】石川県白山市中宮オの部9-2-1  
【TEL】076-256-5717/(公財)石川県林業公社

## ▼ 山の文化館 (加賀)



加賀市出身で『日本百名山』の著者、山の文学者として知られる深田久弥の業績や愛蔵品・作品などを知ることができる山の文化館。自然派が集う「深田久弥 山の文化館」のシンボルは、空も土も黄色に包み込む樹齢650年の巨樹です。11月中旬の紅葉の時期は一面が黄色の絨毯になります。

【住所】石川県加賀市大聖寺番場町18-2 【TEL】0761-72-3313

## 那谷寺 (小松) ▶

2015年にフランスの旅行ガイドブック「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に南加賀から初めて掲載され、一つ星に格付けされた寺院です。23万平方メートルの境内には重要文化財が点在する他、紅葉時にはイロハモミジ、ヤマモミジ、ハウチワカエデなどが赤々と色づきます。

【住所】石川県小松市那谷町122  
【TEL】0761-65-2111



日本屈指の豪雪地帯に形成された特色ある集落構成が残る地区です。2012年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。黄土色の土壁と縦長窓が特徴の大庄屋・山岸家をはじめ、江戸から明治時代に建てられた民家が軒を並べます。白山地に息づく独自の文化を体感することができます。地区全体で高低差があり色づく箇所にも時差があるため、長い期間で紅葉が楽しめます。

【住所】石川県白山市白峰 【TEL】076-259-2721 (白峰観光協会)



## ▼ 白峰 (白山)

**9月の文化RICH／加賀の國の伝統工芸がRICH！**
**女性作家による作品や、都内展示会開催など、近年大注目の伝統工芸品  
加賀の國の伝統工芸「九谷焼」に触れる秋**

九谷焼は、1655年に、加賀藩の命により、有田で陶技を学んだ後藤才治郎が、江沼郡九谷村で開窯したのが始まりと言われており、その後の廃窯、古九谷復興の動きが強まった江戸時代を経て、明治時代以降は日本の美として国内外に認知の波が広がりました。モダンな色彩の陶磁器として有名な九谷焼は、長い期間を経て発展、進化し、芸術品としてだけでなく、日用品としても多くの人々に親しまれています。

**■九谷焼アクセサリ「Wear KUTANI」9月6日より特別販売開始**

九谷焼の魅力をもっとたくさんの人に知っていただきたい、九谷焼のアクセサリを作り、気軽に普段愛用していただきたい、そんな想いを持つ女性作家達が、今「Wear KUTANIプロジェクト」に取り組んでいます。見た目も上品で可愛い、女性作家による女性のための九谷焼アクセサリは、9月6日（金）～10月14日（月）の期間で開催中の九谷焼の祭典「KUTANism」にて、特別販売されています。

【会期】2019年9月6日（金）～ 9：00～17：00（入館は16：30まで）  
【会場】浅蔵五十吉美術館 能美市泉台町南1番地  
【入場料】無料 【主催】能美市観光物産協会  
【HP】  
<https://www.city.nomi.ishikawa.jp/www/contents/1554854129247/index.html>


**■丸善創業150周年記念 現代加賀九谷焼作家展**
**～継承と進化、多彩なる色絵の世界～ 9月18日より開催**

丸善創業150周年記念事業の一環として、9月18日より、丸善丸の内店4階ギャラリー・特設会場にて現代九谷焼作家展が開催されます。当日錚々たる重鎮から躍進する若手の作品まで、伝統とモダンが調和する多彩な作品群を展示・販売するだけでなく、加賀市の観光案内やミニ物産展、山代大神楽の演目を用意しています。9月21日（土）には、3階にて、若手作家たちによるトークショーが開かれます。

【会期】2019年9月18日（水）～24日（火）  
初日9：00開場／最終日15：00閉場  
【会場】丸善丸の内店 4階ギャラリー・特設会場  
【主催】株式会社丸善ジュンク堂書店 現代加賀九谷焼実行委員会 【共催】石川健加賀市


**■伝統工芸村「ゆのくにの森」で創作体験**

11の館で50種類以上の伝統工芸が体験できる創作体験のテーマパーク「ゆのくにの森」。創作体験だけでなく、伝統文化を見学したり、自然の中を散策したり、お食事処で石川県の本格的な海鮮料理を味わったりと、観光客に人気のスポットです。

**ろくろ回し体験（九谷焼体験）**

ここでは、電動ろくろで粘土の形創りの感触を楽しみながら、職人気分たっぷり九谷焼を創ることができます。スタッフが優しくサポートしてくれるので、初めての方でも安心です。

**蒔絵体験（山中塗体験）**

蒔絵とは漆を使った工芸装飾法の一つです。蒔絵は金銀の粉を漆器の表面に漆でつけて、絵や模様を文様をつける、日本の文化と呼べる工芸品、技法です。ここでは、お好きなデザインで絵付け蒔絵体験を楽しむことができます。



【住所】〒923-0393 石川県小松市粟津温泉ナ-3-3  
【TEL】0761-65-3456  
【HP】<https://yunokuni.jp/mori/>

# 9月の文化RICH／加賀の國の伝統工芸がRICH！



## まだまだ続く御朱印ブーム 加賀市の 大聖寺御朱印巡りで開運祈願

大聖寺は、加賀百万石の支藩・大聖寺藩（初代藩主 前田利治）の城下町として栄えてきた歴史と伝統文化の息づく町です。茶道、能楽、生花等の芸事が庶民の間に浸透し、しっかりと落ち着いた雰囲気漂わせています。江戸時代からの街並みをそのまま残し、錦城山城址の麓には、禅宗、日蓮宗などの古刹が立ち並び、藩邸跡の一部に当たる江沼神社境内にある庭園は、兼六園を模して造成されたと伝えられています。（加賀商工会議所より引用）

更に、城下町大聖寺の山の下寺院群、蘇梁館エリアでは、10月26日（土）～11月3日（日）の期間でさまざまなイベントが開かれます。民謡やバンドのコンサートが開催される他、手作りパンの販売や水引ワークショップ、ヨガなどの体験コンテンツも揃えており、老若男女が楽しめるイベントとなっています。また、会期中3箇所以上の御朱印を集めた方には、蘇梁館にてオリジナルトートバッグをプレゼントします。

主催：NPO法人 加賀国際交流会たぶなかネット加賀事務局  
事務局：石川県加賀市熊坂町H28-3 蘇梁館内  
【TEL/FAX】：0761-72-5350 Mail：[tabunka.net.kaga@gmail.com](mailto:tabunka.net.kaga@gmail.com)  
【HP】<http://tabunkanet.com>

加賀大聖寺山ノ下寺院群  
特別公開 寺室・庭園・御朱印めぐり

特別公開期間 令和元年10月26日(土)～11月3日(日) 9日間

大聖寺大雲・加賀高  
演歌・歌謡曲コンサート

特別公開(土) 場所：蘇梁館内  
演奏会：13:00～演奏・販売10:00～

11月2日(土) 16:30～19:00  
加賀市立大聖寺山ノ下寺院群  
大聖寺  
大聖寺の歴史  
大聖寺の文化

11月10日(日) 10:00～15:00  
大聖寺  
大聖寺の歴史  
大聖寺の文化

10月26日(土) 11:00～14:00  
大聖寺  
大聖寺の歴史  
大聖寺の文化

11月1日(日) 11:00～14:00  
大聖寺  
大聖寺の歴史  
大聖寺の文化

**KAGA 加賀市**

全国でも有名な加賀温泉郷と丁寧なおもてなしが魅力!  
山代、山中、片山津の3つの温泉があり、国内外からの観光客も多い。自然を感じる景色や豊かな食料も魅力的で、日本海に面する「臨立湾」はカニの水揚げ港として知られる。

**KOMATSU 小松市**

世界からの玄関口であり、トップのものづくりを誇るまち!  
建設機械メーカー「コマツ」の創業地で、ものづくりが盛ん。歌舞伎「勘五郎左衛門」の舞台「安宅の関」やあわづ温泉がある。世界につながる小松空港を通過し、国内外との交流も盛んです。

**NOMI 能美市**

お祭り、施設など、様々な角度から九谷焼の魅力を発信!  
「見る」「作る」「買う」九谷地のすべてを体験できる九谷陶芸村のほか、いしかわ動物園、手取フィッシュランド、松井秀喜ベースボールミュージアムなど、レジャー施設が豊富。

**KAWAKITA 川北町**

清らかな白山の伏流水を使用した地ビールなどが人気!  
手取川に沿って広がる川北町では、川沿いで釣りやサイクリングを楽しむ人が多く。川北花火大会は、北陸最大の花火大会として有名で、県内外問わず多くの観光客が押し寄せます。

**HAKUSAN 白山市**

山、川、海すべてに囲まれた、レジャーに最適な注目エリア!  
雪峰白山をはじめ、手取川、海側へ行けば日本と、四季折々の表情を見せる豊かな自然に囲まれ、登山スキー、スカイスポーツなどのアクティビティや、特色ある温泉・食・祭りが楽しめます。

**NONOI 野々市市**

美しく整えられた街並を巡ってショッピングが楽しめる!  
金沢市に隣接する野々市市は、3つの大学が立地し、小さなこだわりのショップや大型商業施設、飲食店が充実。江戸時代の商家宅を語る旧田園街道には趣ある街並みが広がります。

みなさんに知られているものが結構たくさんあります。  
**加賀の國ってどこ？**

石川県は一般的に加賀と能登の二手に分けられていて、その加賀エリアの中でも金沢より以南のエリアを「加賀の國」と呼びます。北陸の空の玄関口「小松空港」があり、金沢もすぐそばという利便性を持ちながら、自然に囲まれているから心地よく過ごすことができます。それが「加賀の國」エリアの特長です。また、ものづくりが盛んな産業集積エリアとしても知られ、世界最先端の技術や製品に触れることができることも大きな魅力となっています。

加賀の國にいきたくておきのこと。

加賀の國へのアクセス

鉄道

- 東京→小松 北陸新幹線「かがやき」& 北陸本線 約3時間
- 大阪→小松 特急「サンダーバード」約2時間30分
- 名古屋→小松 特急「しほり」約2時間30分

航空便

- 羽田→小松 約1時間
- 成田→小松 約1時間
- 札幌→小松 約1時間35分
- 仙台→小松 約1時間
- 福岡→小松 約1時間15分
- 那覇→小松 約2時間10分
- ソウル→小松 約1時間45分
- 上海→小松 約2時間5分
- 台北→小松 約2時間5分